

## 4 地震発生後の対応

### (1) いろいろな保育場面等に応じた対応マニュアルの作成〈29ページ〜〉

園児の生命を守るため、いろいろな保育場面に応じた地震・津波発生時の対応マニュアルを作成し、全保育者等で共通理解しておくことが重要です。

次ページ以降に示す例をもとに、以下の点に留意し、各園の実態に応じた対応マニュアルを作成しましょう。

- 津波の想定到達時間が早い場合
- 個別の支援が必要な園児がいる場合
- 園長・所長が不在の場合
- 保育者等数が少ない時間帯の場合
- 液状化の恐れがある地域の場合
- 雨天の場合
- 避難している間の過ごし方 等

#### ワンポイント

園児を安全、迅速に避難させるためには、建物やブロック塀の倒壊、飛散ガラス等から足を守ることが大切です。そのため、避難訓練で上履きのまま避難させたり、日頃から靴を素早く履いたりする練習をしておくことも大切です。



# 保育室等での対応 預かり・延長保育時の対応



**地震発生!**

園児の安全確保

揺れがおさまる



**津波発生!**

園庭等の安全な  
場所へ避難

避難場所決定と指示  
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し  
〈37、38ページ〉

- ・ 出口の確保
- ・ 的確な指示  
「しゃがんで」  
「机の下にもぐって」  
「頭を守って」  
「先生がいるから大丈夫」  
「先生のそばにおいて」
- ・ 保育室等では、毛布、防災頭巾等身近な物で頭部を保護させ、落下物のない場所を集める
- ・ 火災など二次災害の防止

- ・ 的確な指示  
「頭を守って」  
「園庭に出ます」
- ・ 安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・ 避難経路・避難場所の安全確認
- ・ ハンドマイク等で避難指示

- ・ 園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・ トイレ、保育室、ホール等の隅に園児が残っていないか確認する
- ・ 人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・ 出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・ 人員点呼と安否の確認
- ・ 負傷者の確認と応急手当
- ・ 園長・所長等不在時  
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・ 関係機関への連絡 〈11、12ページ〉

- ・ 引き渡しカードを準備
- ・ 保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

- ・ 机等の下にもぐらせる
- ・ 幼児は、防災頭巾等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・ 乳児は、保育者等が抱きかかえ、毛布などで頭部及び上半身を保護する
- ・ 保育者等のそばに集める
- ・ パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

## 全園児避難の指示

- ・ 静かにさせる
- ・ 身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・ 避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・ 安心させるよう声かけをする
- ・ 不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・ 園児の健康状態に気を配りながら移動する





**地震発生!**

**園児の安全確保**

**揺れがおさまる**



**津波発生!**

**園庭等の安全な  
場所へ避難**

**避難場所決定と指示**

**★津波危険地域は迅速な避難を最優先**

**指定避難場所へ**

**避難後の対応**

**保護者への連絡**

**保護者への引き渡し  
<37、38ページ>**

## 園庭での対応

### 保育者等の対応

- ・的確な指示  
「しゃがんで」  
「頭を守って」  
「先生がいるから大丈夫」  
「先生のそばにおいで」
- ・落下物のない場所に集め、頭部を保護させる
- ・固定遊具の上で動けなくなっている園児は、急いで降ろす

- ・的確な指示  
「部屋の中にいる人は出ておいで」  
「頭を守って」  
「大丈夫よ、安心して」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・園舎内（トイレ、保育室、ホール等）や園庭の隅に園児が残っていないか確認する
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・ハンドマイク等で避難指示

- ・園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長・所長等不在時  
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡 <11、12ページ>

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

### 園児への対応・留意点

- ・机等の下にもぐらせる
- ・幼児は、防災頭巾等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、毛布などで頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

### 全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する





**地震発生!**

## 昼寝時の対応

### 保育者等の対応

### 園児への対応・留意点

#### 園児の安全確保

揺れがおさまる



**津波発生!**

#### 園庭等の安全な場所へ避難

避難場所決定と指示  
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

#### 指定避難場所へ

#### 避難後の対応

#### 保護者への連絡

保護者への引き渡し  
(37、38ページ)

- ・ 出口の確保
- ・ 的確な指示  
「布団をかぶって」  
「頭を守って」  
「大丈夫、先生がいるよ」
- ・ 保育室等では、布団、毛布等身近な物で頭部を保護させ、落下物のない場所に集める
- ・ 火災など二次災害の防止

- ・ 的確な指示  
「布団から出なさい」  
「大丈夫よ、出ておいで」  
「頭を守って」  
「園庭に出ます」
- ・ 安全が確認できるまでその場を動かさないように指示
- ・ 避難経路・避難場所の安全確認
- ・ ハンドマイク等で避難指示

- ・ 園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・ トイレ、保育室、ホール等の隅に園児が残っていないか確認する
- ・ 人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・ 出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・ 人員点呼と安否の確認
- ・ 負傷者の確認と応急手当
- ・ 園長・所長等不在時  
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・ 関係機関への連絡 (11、12ページ)

- ・ 引き渡しカードを準備
- ・ 保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

- ・ 幼児は、布団にもぐり頭部を保護させる
- ・ 乳児は、保育者等が抱きかかえ、布団等で頭部及び上半身を保護する
- ・ 寝ている園児を起こす
- ・ 保育者等のそばに集める
- ・ パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

#### 全園児避難の指示

- ・ 静かにさせる
- ・ 身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・ 避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・ 安心させるよう声かけをする
- ・ 不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・ 園児の健康状態に気を配りながら移動する





**地震発生!**

## 散歩時等の対応

### 保育者等の対応

### 園児への対応・留意点

#### 園児の安全確保

揺れがおさまる



**津波発生!**

#### 避難場所決定と指示

**★津波危険地域は迅速な避難を最優先**

#### 最寄りの安全な場所へ避難

**★津波の恐れがある場合は高台等へ**

#### 安全確認

#### 園へ連絡 避難後の対応

#### 保護者への連絡

#### 保護者への引き渡し (37、38ページ)

- ・的確な指示  
「しゃがんで」  
「頭を守って」  
「大丈夫、先生がいるから安心して」
- ・地形や状況を判断し、落下物のない場所に集め、頭部を保護させる
- ・交通機関等を利用している場合は、乗務員の指示に従う

- ・的確な指示  
「先生のそばにおいで」  
「けがをした人はいませんか」  
「頭を守って」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・最寄りの避難場所を選定する
- ・避難経路・避難場所の安全確認

- ・人員を確認し、最寄りの安全な場所に避難誘導する
- ・落下物、飛散ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした道路、倒れた電柱、垂れ下った電線等に近づかないように指示

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・総括本部（所長・園長等）に状況を報告し、対応を決定する

- ・保護者に状況を伝える
- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、避難場所で保護する

- ・幼児は、頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

#### 全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

- ・園に帰ることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、総括本部（所長・園長等）と連絡を取り合う

散歩時等、園外に出かけるときは非常持ち出し品を携帯しましょう。

※遠足等の園外活動時の対応については、事前に避難場所等の確認をし、保護者にも知らせておきましょう。



# プール・水遊び中の対応



**地震発生!**

園児の安全確保

揺れがおさまる



**津波発生!**

園庭等の安全な場所へ避難

避難場所決定と指示  
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し  
<37、38ページ>

## 保育者等の対応

- ・的確な指示  
「プールから上がりなさい」  
「プールのふちにつかまって」  
「先生のそばにおいで」
- ・プールから園児を出す
- ・プールサイドにしゃがまず
- ・バスタオル等で身体を保護させる
- ・園児がプール内に残っていないか確認をする

- ・的確な指示  
「大丈夫、先生がいるから」  
「頭を守って」  
「先生のそばにおいで」  
「園庭に行きます」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・ハンドマイク等での避難指示

- ・園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・人員を確認、安全な場所に誘導し、落ち着かせる
- ・出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長・所長等不在時  
園長・所長等と連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡 <11、12ページ>

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

## 園児への対応・留意点

- ・出られない園児をプールから出す
- ・幼児は、バスタオル等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、バスタオル等で頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

### 全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・バスタオル等で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

津波のため水着のまま避難したときは、毛布や非常用保温シート等で身体を保護しましょう。



# 通園バス乗車中の対応



**地震発生！**

園児の安全確保

揺れがおさまる



**津波発生！**

最寄りの安全な場所へ避難

避難場所決定と指示  
★津波危険地域は迅速な避難を最優先

安全確認

園へ連絡  
避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し  
(37、38ページ)

## 保育者等の対応

- ・地形や状況を判断し、崩落や落下物等の恐れがない安全な場所にバスを停める
- ・的確な指示  
「頭を守って」  
「先生がいるから安心して」

- ・的確な指示  
「けがをした人はいませんか」  
「頭を守って」  
「あわてないで、大丈夫よ」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・最寄りの避難場所を選定する
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・落下物、飛散ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした道路、倒れた電柱、垂れ下った電線等に近づかないように指示
- ・人員を確認し、避難誘導する

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・総括本部（所長・園長等）に状況を報告し、対応を決定する

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各園（避難場所）で保護する

## 園児への対応・留意点

- ・身近な物で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

### 全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

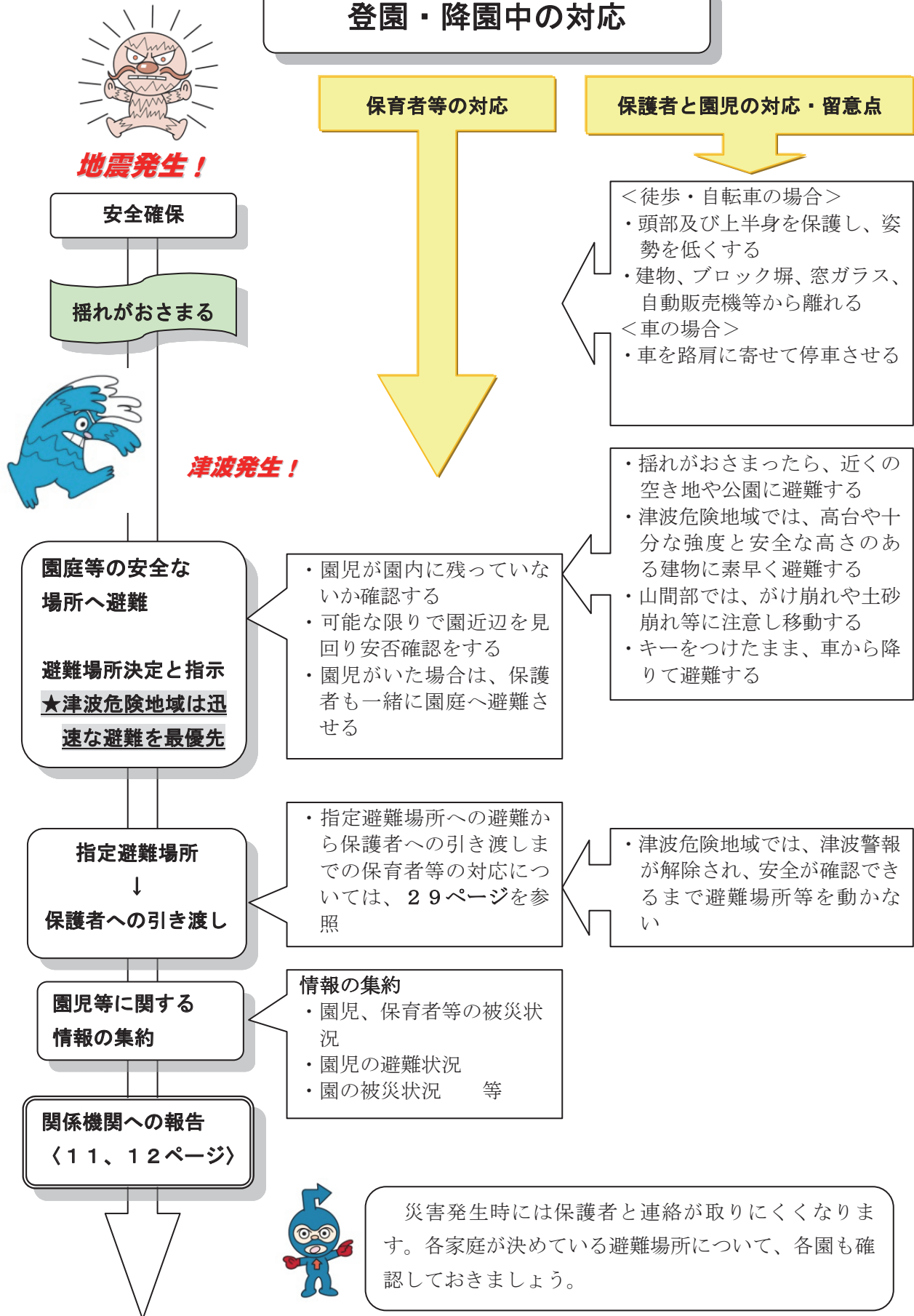
- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

- ・園に帰ることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、総括本部（所長・園長）と連絡を取り合う



- ・通園バス運行経路の防災マップ
- ・乗車する園児の名簿を携帯しましょう。

# 登園・降園中の対応





# 休日・夜間等の対応



**地震発生!**

安全確保

揺れがおさまる



**津波発生!**

避難

保育所・幼稚園等へ  
参集

園児・保育者等の  
安否確認

自宅・避難所等

被害状況の把握

園児等に関する  
情報の集約

関係機関への報告  
(11、12ページ)

保育者等の対応

保護者と園児の対応・留意点

<自宅等にいる場合>

- ・頭部及び上半身を保護し、姿勢を低くする

<徒歩・自転車の場合>

- ・頭部及び上半身を保護し、姿勢を低くする

- ・建物、ブロック塀、窓ガラス、自動販売機等から離れる

<車の場合>

- ・車を路肩に寄せて停車させる

- ・自分自身の安全を確保する
- ・家族の無事を確認する
- ・家族の安否確認後、園や指定されている避難場所に参加する

- ・指定されている避難場所へ避難する

- ・身近な物で頭部を保護し避難する

- ・津波危険地域では、高台や十分な強度と安全な高さのある建物に素早く避難する

- ・津波危険地域では、津波警報が解除され、安全が確認できるまで避難場所等を動かない

- ・園児と保護者の安否確認をする
- ・保育者等の安否確認をする
- ・園舎や園周辺の被害状況の確認をする

安否等の園への連絡方法について、事前に保護者と申し合わせておくことが大切です。

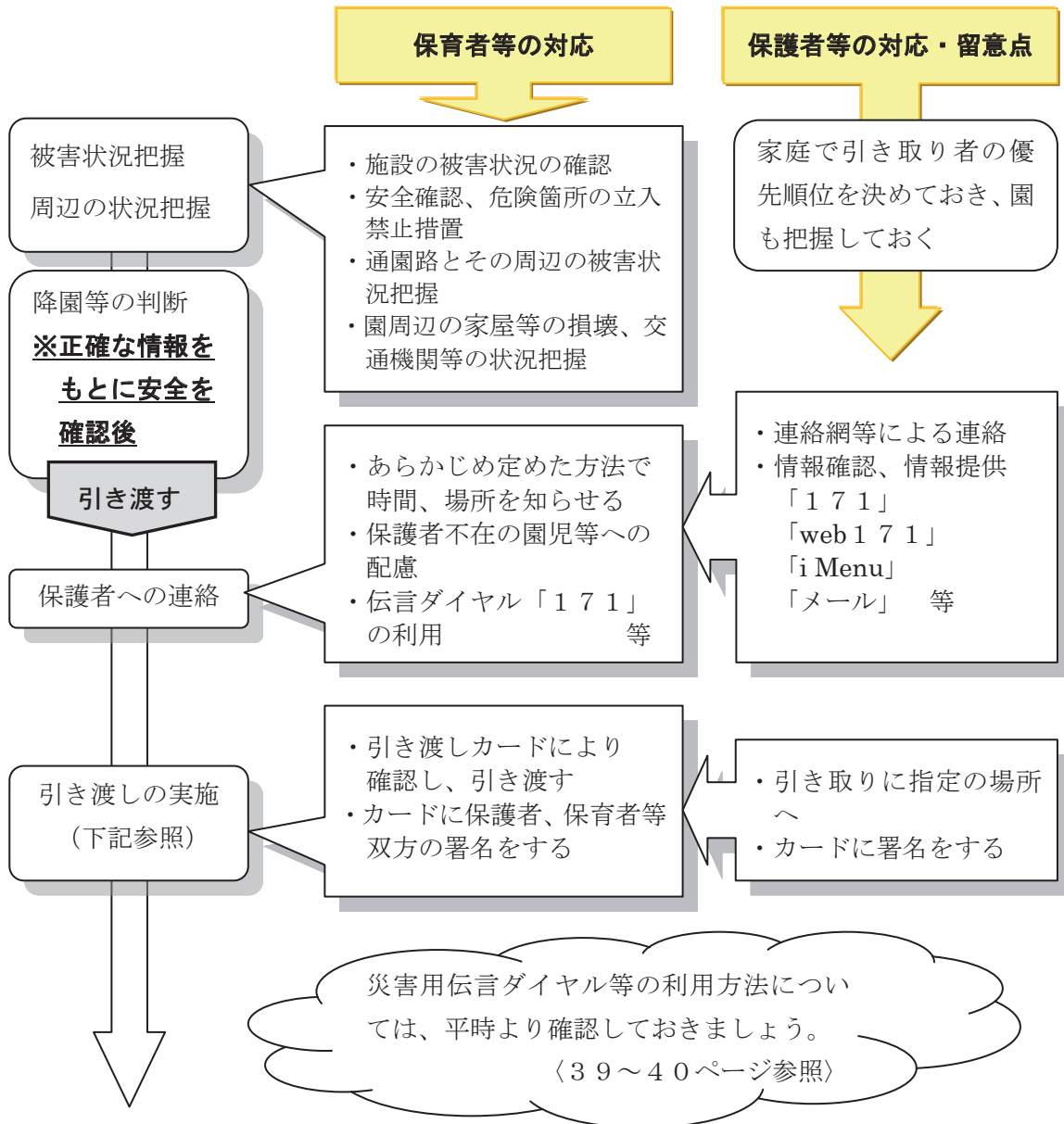
情報の集約

- ・園児、保育者等の被災状況
- ・園児の避難状況
- ・園の被災状況 等

保育者等の参集基準については  
8～10ページ参照

## (2) 保護者への引き渡し

### ① 保護者への引き渡し (例)



- (1) 園児は、園庭または避難場所に集合させる。保護者は指定の場所で待機してもらう。
- (2) ハンドマイク等の指示で引き渡し開始
  - ・ 引き渡しカードをもとに引き取り者を確認し、園児を引き渡す。
  - ・ 兄弟姉妹がいる場合は、低年齢の園児から引き渡す。
  - ・ 負傷した園児については、状況を保護者に説明し引き渡す。
  - ・ 行方不明の園児の保護者には、所長・園長が対応する。
- (3) 保護者への連絡がとれない場合、園児を引き続き保護する。その場合、園児の心のケアを心がける。

② 緊急時連絡・引き渡しカード（例）

緊急時連絡・引き渡しカード				保護者印	担任印	
園児氏名		性別		組（年齢）	組 才	
住 所	〒 電話（ ） -			血液型		
保護者名			園児との関係			
在園する 兄弟姉妹	組	組	組			
	氏名	氏名	氏名			
緊急時の 連絡先 (優先順に)	①氏名	続柄	電話（ ） -	自宅・勤務先		
		携帯（ ）				
		メールアドレス（ ）				
	②氏名	続柄	電話（ ） -	自宅・勤務先		
		携帯（ ）				
		メールアドレス（ ）				
	③氏名	続柄	電話（ ） -	自宅・勤務先		
		携帯（ ）				
		メールアドレス（ ）				
家族で確認している避難場所						

引き取り者		園児との関係	
引き渡し日	年 月 日 時 分	引き渡し 保育者等名	
避難場所		今後の連絡先	
特記事項			

※原本は職員室、コピーしたものを非常持ち出しバッグ等へ入れておく。

※個人情報のため、管理には十分留意する。

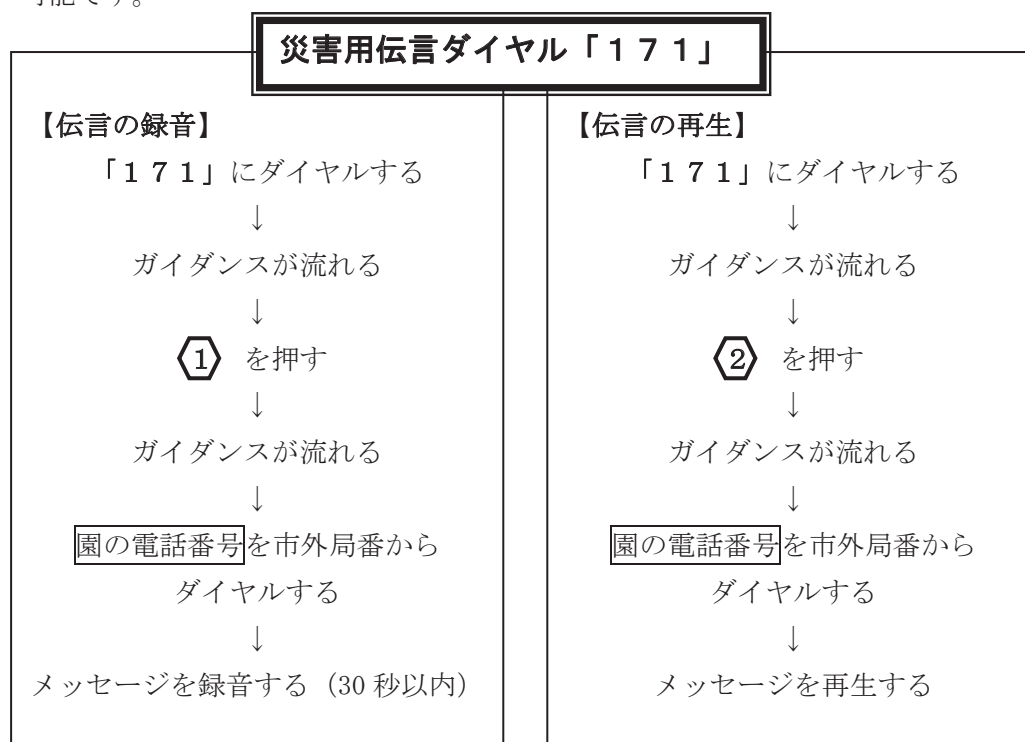
### (3) 緊急時の通信手段

大災害が発生すると、安否確認や問い合わせなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が続きます。そのため、緊急時の通信手段についてさまざまな方法を事前に確認し、準備しておくことが大切になります。

#### ◆ 災害伝言ダイヤル「171」

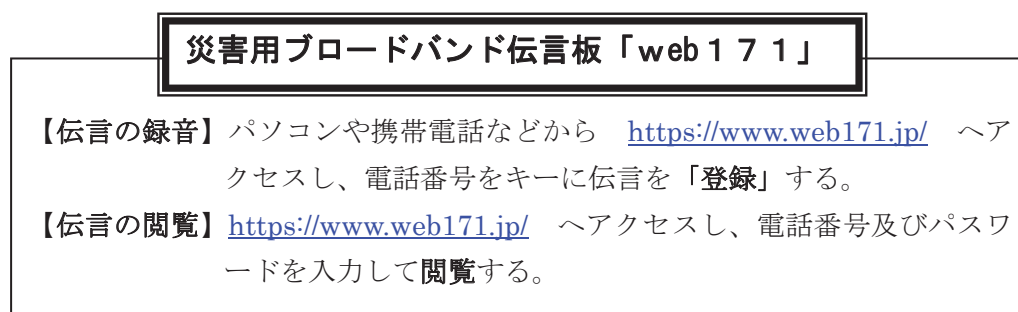
NTT災害伝言ダイヤルは、地震等の災害の発生時に、被災地への通信が増加し、電話がつながりにくい状況になった場合にサービスが稼働されます。

地震発生後にテレビやラジオなどで、「171」サービス開始の報道があり、その後利用することができます。事前契約は不要で、あらゆる電話での利用が可能です。



#### ◆ 災害用ブロードバンド伝言板

このサービスは、災害等発生時、被災地域の居住者がインターネットを經由して伝言板サイトにアクセスし、電話番号をキーとして伝言情報の登録が可能なサービスです。



## ◆ iモード災害伝言板

iモード災害伝言板には、iモードサービスを利用して安否情報等を登録することができます。登録されたメッセージは、iモードサービスまたはインターネットを利用して、全国から確認することが可能です。(パケット通信料がかかります)

### 災害用伝言板サービス「iモード」

- 【メッセージの登録】i Menu のトップに表示される「災害伝言板」の「登録」を選択します。現在の状態について「無事です。」等の4つの中から選択します。任意で100文字以内のコメントを入れることが可能です。(コメントのみの利用も可能)
- 【メッセージの確認】i Menu のトップに表示される「災害伝言板」の「確認」を選択します。安否を確認したい人の「携帯電話番号を入力」し、「検索」を押します。

※ <https://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi> から確認することができます。

## ☆ 災害用伝言体験利用

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤル(171)「体験利用日」が設定されています。実際に災害が起きたとき活用できるように、この期間に体験しておきましょう。

### 災害用伝言 体験利用

#### 【体験利用日】

- ・毎月1日及び15日(0:00~24:00)
- ・正月三が日(1月1日0:00~1月3日24:00)
- ・防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- ・防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

#### 【提供条件】

- ・伝言録音時間：30秒
- ・伝言保存期間：6時間
- ・伝言蓄積数：10伝言



○最悪の場合、通信手段がいずれも使用できなくなることが考えられます。特に停電になった場合、電源が必要な手段はすべて使用できなくなります。

携帯電話の充電器(電池・ソーラー・手動)を準備しておきましょう。

○通信手段については、最新の情報を把握し、利用方法等を確認しておきましょう。